

ときがわ「仁志の森」活動報告

期 日：2020年1月12日（日）

天 候：曇り

参加者：11名

作業内容：下刈り、地拵え、作業路造成及び整備

報告者：小泉

あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いします。

本日は、曇り空でしたが、暖冬であるため、例年のように寒くなく作業するにはちょうど良い気温でした。

本日の作業は、地元の小学生が安全に植樹（こなら）できるように、下刈りと地拵え、そして作業路の整備です。全員で手分けして実施しました。そして、定点観測カメラのデータを収集し、再設置しました。カメラには、いろいろな山の生き物の活動が映っています。仁志の森の動物の生態系が徐々に判明し、今後が楽しみでもあります。周辺には、いのししがよく出没しているようです。河原には、いのししの足跡があり、いのししの足型の採取も行いました。



石膏でイノシシの足型をとる

話変わりますが、昨年度は、豪雨等による災害が多く発生しました。地球温暖化の影響で、と考えられています。台風の増水で、仁志の森の川の流れも変わってしまいました。改めて自然の猛威のすごさを感じます。地球温暖化の防止のためには、温暖化ガスの排出をゼロにすることが必要だと言われています。森林は、温暖化ガスである二酸化炭素を吸収してくれます。そして、水源涵養効果の期待できる里山は土砂災害を防止してくれます。少しでも我々の活動が役立ってくれればいいなと思います。



新規購入したセンサーカメラ



植栽予定地



伐採作業後

【山の様子】



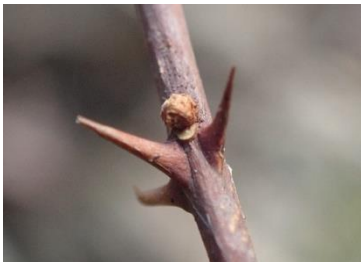
クロモジ



アブラチャン



ヤブデマリ



サンショウ



シラキ



ウリノキ



フユイチゴ



ヤブムラサキ



ハダカホオズキ

【カメラ1】



シカ

【カメラ2】



シカ



ジョウビタキ